

ほけんだより

5月号

令和3年5月14日
野上あゆみ保育園



新型コロナウイルス感染症が広がっています。予防のために保育園でも手洗いや手指消毒を子ども達に伝えています。年齢が上がるごとに上手に手洗いできる様子がみられました。

上手な手洗いや消毒が習慣にできると良いですね。



気温差の大きいこの時期は衣服の調節が難しいですが、幼児クラスでは、自分で肌寒さや暑さを感じて、脱いだり着たりできるようになっていければと思います。

衣服の調整をお願いします。

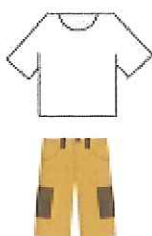
夏

25℃以上



秋・春

20℃前後



冬

18℃以下



- ・綿の下着（汗を吸い取り、保温も出来ます）や薄手の長袖をご用意下さい。
- ・0歳児、1歳児で、新しく帽子を用意して頂く場合は、顔だけでなく首まで隠れるものが良いでしょう。また手持ちのキャップにハンカチなどで垂れをつけるのも良いですね。



宝塚市保健だより～抜粋

RS ウイルス感染症が流行しています

RS ウイルス感染症が全国各地で拡がりをみせています。例年は秋～冬季に流行していますが、今年に入ってから国立感染症研究所の患者報告数が増加し続けており、季節外れの流行がみられています。

宝塚市内でもRS ウイルスを含めた発熱者の集団発生報告が複数の保育所（園）で報告されています。市内の保育所（園）でRS ウイルスや発熱者の集団発生報告が複数園で相次ぐのは今まであまり例がありません。昨年は全国的に患者報告数が非常に少なく、感染の機会がない方が多かったと推測されるため、今年は発生数が多くなり、当面流行が続く可能性があります。

どんな症状？

発熱、鼻水、咳などの風邪に似た症状が数日続きます。多くの場合は軽症で、ただの風邪と同様に治っていきませんが、重くなると肺炎や細気管支炎を引き起こし、入院が必要になることもあります。2歳までにほとんどの子どもが感染すると言われていますが、年齢を問わず何度でも感染します。

どうやって感染するの？

ウイルスが付着した手指やおもちゃ等を触ったりなめたりすることによる接触感染や、咳などによる飛沫感染で感染します。感染力が非常に強いのが特徴です。感染後、4～6日の潜伏期間をおいて発症します。

どう対策したらいい？

手洗い、マスクの着用、消毒等の新型コロナウイルス感染症対策で行っていることと同様の対策になります。しかし、乳児はマスクをすることが難しいため、集団生活はどうしても感染が拡がりやすい環境となります。感染が拡がることを防ぐために、新型コロナウイルス感染症対策でもお願いしている通り、発熱、鼻水、咳などの風邪症状がみられる場合はお休みいただき、家庭での療養のご協力をお願いいたします。

どうしても仕事が休めない等、家庭での保育が困難な場合は、病児保育事業（市ホームページ病児保育のご案内 ID 1000545）がございます。病気によって個別（個室）保育を行う等、感染予防対策を行っております。お困りの際は、ご利用をご検討ください。

（参照）感染症予防接種ナビ HP

